

学校における猛暑災害対策について

教育部 教育総務課・学校教育課

市内の小中学校において、今年度できる限りの対策を検討し、取組を進めておりますので、実施状況等を報告します。

1 焼津市の気象状況

令和6年6月から9月までの市内の気象状況については、最高気温が35度以上となる「猛暑日」は15日(昨年6月から9月は無し)、最高気温が30度以上の「真夏日」は、62日(昨年6月から9月は81日)であった。また、熱中症の危険性が極めて高い気象状況が予測される際に発表される「熱中症警戒アラート」は、44回(昨年6月から9月は29回)発表されている。

2 令和6年度の具体的な取組の実施状況

(1) 施設面

取組	対象	実施状況
体育館への空調設備設置	全中学校9校	・各校ごとに工事のスケジュールを調整し、10月下旬頃から施工を開始 ・今年度中に完了予定
	全小学校13校	・設計業務実施中 ・今年度中に全校の工事を発注する予定
スポットクーラーの設置	全小中学校	・体育館に空調設備が設置されるまでの間の措置として、5月21日から10月23日までのレンタル契約で、全ての小中学校体育館へ、4台ずつ設置 ・体育館で行われる学校の体育の授業や集会、部活動などで、暑さ対策として活用した。
ミストシャワーの設置	全小中学校	・グラウンド等、屋外における活動の際の暑さ対策として、全ての小中学校に設置 ・ミストシャワーの周辺は温度が下がるため、体育の授業の休憩時間などに、水分補充と併せて、身体を冷やすために使用しているほか、登校時や休み時間にも使用した。

(2) 小学生登下校時熱中症対策

取組	実施状況
保冷剤付ランドセル背あてパット	登下校時の熱中症対策として、小学校1年生から6年生の全児童に、配布した。
クールタオル	
保冷剤用冷凍庫の設置	下校時の熱中症対策として、保冷剤を冷やすための冷凍庫を各小学校に設置した。

(3)焼津市立小中学校熱中症対策ガイドラインの作成

- ・暑さ指数(WBGT)と熱中症予防の体制整備や熱中症の予防策について整理し、学校における熱中症対策 実践例などを掲載し、各学校での対策に生かした。
- ・ガイドラインを市地域クラブやスポーツ少年団に配布したり、ガイドラインを参考に、各学校での取組を考え、お便り等で保護者にも周知したりして、学校・保護者・地域一体となって子どもを熱中症から守る取組を行った。

3 具体的な取組への学校現場などからの評価

- ・子ども達からは大変好評で、ミストシャワーや保冷剤付きランドセル背当てパッド、クールタオル等のおかげで、暑い中でも元気に学校生活を送ることができた。
- ・保冷剤付きランドセル背当てパッドは、登下校時だけでなく、校外学習の際、リュックサックに装着して施設周辺を歩いて回る班活動に活用し、予防につなげた学校もあった。
- ・保護者や教員からも熱中症等の防止に確実に役立っているという声をいただいた。
- ・スポットクーラーを設置していただいたおかげで中体連に向けての部活動の練習時に、生徒が火照った体を冷やしながら練習に打ち込んでいる様子が毎日のように見られた。
- ・7月初旬の猛暑日にあっても、整った環境の中で午後の最後の授業まで集中して臨むことができた。



4 今後に向けて

施設面においては、体育館への空調設備について、できるだけ速やかに整備をおこなっていくとともに、グラウンド等、屋外における活動の際の暑さ対策として、ミストシャワーの他に効果的な対策があるか、検討していきます。

ソフト面においては、今年度できる限りの対策を検討し、取組を進めているところであり、今後、猛暑の状況を検証し、更なる対策の必要性について検討していきます。

具体的には、例えば、本年度すべての中学校で体育大会の時期を見直し、これまで行っていた9月から、夏休み前の5月や10月に実施しました。練習への取組も含めて、本年度の状況を検証し、より安全に、そして子どもたちが生き生きと活動できるよう他の行事等も含め検討していきます。また、ガイドラインについても、学校現場で実際に活用した中での課題や、今後の猛暑の状況などから、必要であれば見直しを進めていきます。